

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名		歴史館施設管理事業							担当部		教育委員会事務局		
	会計区分		一般会計			事業類型		実施計画事業以外		担当課		文化振興課		
	事業期間		平成12年度以前			～		平成31年度以降			担当係		文化財係	
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		15 文化振興			3 小牧固有の歴史・文化遺産を保全・活用します						
		副目的	18－1									実施計画対象		
	予算区分		款	10	項	5	目	8	大	2	中	1		
	根拠法令・個別計画		歴史館の設置及び管理等に関する条例・文化振興ビジョン											
	目的 (対象をどのような状態にするのか)		小牧のシンボル小牧山にある歴史館を多くの方に利用してもらうことで、歴史遺産の再確認、小牧のPRにつなげる。											
	内容 (手段)		◆26年度実施内容 ○歴史館管理運営 管理、運営は指定管理者である小牧市施設活用協会へ委託。 館内ガイドの配置、夜間開館の実施等、利用者の利便性向上に努めた。また、さくらまつり、お月見まつり、市民まつりなど他の課が行う事業にも協力し、開館時間の延長・無料入館等、利用拡大を図った。 平成26年が小牧・長久手の合戦430年となるのを記念し、企画展を下記のとおり2回開催し、期間中に述べ18,724人の入館者があった。 1.「小牧・長久手の合戦～家康・秀吉・ 最初で最後の闘い」 7月18～9月17日、入場者数12,444人 2.「小牧・長久手の合戦」 10月17日～11月19日、入場者数6,280人 職員は指定管理者との調整、入館料の減免、企画展示、開館時間の延長等の諸手続きや、広報活動を行った。 ◆26年度直接経費の内訳 ・歴史館管理運営委託料(21,795千円) ・歴史館パンフレット増刷(344千円) ・その他、役務費、負担金等(103千円) ◆27年度直接経費の内訳 ・歴史館管理運営委託料(24,040千円) ・歴史館パンフレット増刷(500千円) ・歴史館結露・雨漏り修繕(3,200千円) ・その他、旅費、需用費等(156千円)											
	受益者負担		無											

コスト			単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額	
	費用	直接経費		千円	22,045	26,348	22,242	27,896
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	22,571	26,874	22,768	28,422
		対前年比		%		119.0	84.7	124.8
	財源	一般財源		千円	18,136	21,903	18,066	25,909
		国・県支出金		千円	0	0	0	0
		その他財源		千円	4,435	4,971	4,702	2,513

業 績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	企画展	日	目標	20	123	95	60
			実績	34	122	95	
	夜間開館	日	目標	24	—	18	—
			実績	25	19	20	
	ガイドボランティア	日	目標	8	24	24	24
			実績	24	27	33	
	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	入場者	人	目標	55,000	60,000	60,000	—
			実績	62,159	71,972	68,929	
	企画展・夜間開館入場者	人	目標	—	—	—	—
			実績	21,814	33,328	20,526	

事業の自己評価	平成26年度の実施結果	事業の達成状況	企画展の実施や夜間開館、指定管理者の自主事業である甲冑試着体験や本丸跡茶会の開催などにより、多くの方に歴史館に入館していただくことができた。	
		事業実施における課題	施設が小牧山の山頂にあり、高齢者や足の不自由な方にとっては来館は厳しいものとなっている。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	市内唯一の歴史資料館であるため、小牧市の歴史や文化を紹介する機会が失われる。	
	平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	耐震改修工事により休館する4か月の間に、細かな修繕や改修を同時に行い、施設の改善を図る。	
	平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
		判定理由	市内唯一の歴史資料館を維持することで、文化財を学び親しむ機会を確保する必要がある。	
		28年度以降の改善案	平成30年に小牧山の麓に完成予定の(仮称)小牧山史跡センターとの棲み分けについて、検討していく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 引き続き指定管理者のモニタリングに努め、利用者アンケート結果を活かすなど利用者の満足度が高まる施設運営に努めること。